

介護職員初任者・看護助手・福祉用具専門相談員養成科

| | | | | | |
|--|---|---|---|-------------|----|
| 訓練実施施設 | 特定非営利活動法人鷹ロコ・ネットワーク大楽 | | | | |
| 訓練番号 | 4-30-13-02-05-0816 | コース名 | () 基礎 (○) 実践 コース | | |
| 募集期間 | 平成31年3月5日～平成31年3月19日 | | | | |
| 訓練内容 | 科目 | 科目の内容 | | 訓練時間 | |
| | 就職支援 | 職務経歴書・履歴書の作成指導、面接指導 | | 15 | |
| | 安全衛生 | 現場での事故防止、自己管理、危険除去 | | 3 | |
| | 介護福祉分野の心理学 | 障害者・高齢者・障害児の心理、家族の心理 | | 8 | |
| | 看護助手業務と役割の理解 | 医療に係る制度・法律、看護助手の役割、からだの仕組み、安全管理・感染予防等の看護助手業務を遂行するための基本技術の理解 | | 18 | |
| | 福祉用具専門相談員 | 福祉用具の役割(1H)、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理(1H)、介護保険制度等の考え方と仕組み(2H)、介護サービスにおける視点(2H)、からだの仕組みの理解(6H)、リハビリテーション(2H)、高齢者の日常生活の理解(2H)、介護技術(4H)、住環境と住宅改修(2H)、福祉用具の特徴(8H)、福祉用具の供給の仕組み(2H)、福祉用具貸与計画等の意義と活用(5H)、振り返り(1H)、修了試験(1H) | | 39 | |
| | 職務の理解 | 多様なサービスの理解(3H)、介護職の仕事内容や働く現場の理解(3H) | | 6 | |
| | 介護における尊厳の保持・自立支援 | 人権と尊厳を支える介護(6H)、自立に向けた介護(3H) | | 9 | |
| | 介護の基本 | 介護職の役割、専門性と多職種との連携(3H)、介護職の職業倫理(1H)、介護における安全の確保とリスクマネジメント(1H)、介護職の安全(1H) | | 6 | |
| | 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 介護保険制度(6H)、障害者総合支援制度及びその他制度(2H)、医療との連携とリハビリテーション(1H) | | 9 | |
| | 介護におけるコミュニケーション技術 | 介護におけるコミュニケーション(3H)、介護におけるチームのコミュニケーション(3H) | | 6 | |
| | 老化の理解 | 老化に伴うところとからだの変化と日常(3H)、高齢者と健康(3H) | | 6 | |
| | 認知症の理解 | 認知症を取り巻く状況(1H)、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(2H)、認知症に伴うところとからだの変化と日常生活(2H)、家族への支援(1H) | | 6 | |
| | 障害の理解 | 障害の基礎的理解(1H)、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識(1H)、家族の心理、かかわり支援の理解(1H) | | 3 | |
| | ところとからだのしくみと生活支援技術(知識) | 介護の基本的な考え方(3H)、介護に関するところのしくみの基礎的理解(5H)、介護に関するからだのしくみの基礎的理解(4H)、生活と家事(8H)、快適な居住環境整備と介護(6H)、死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護(3H) | | 27 | |
| | 振り返り | 振り返り(3H)、就業への備えと研修修了後における継続的な研修(2H) | | 5 | |
| | 修了試験 | 修了試験 | | 1 | |
| | 介護の周辺知識 | 介護職の現状・障害者・障害者施設・障害者の家族の支援・介護保険制度・介護職員初任者研修の位置付けについて・利用者及び家族、周囲の人々のメンタルケア | | 34 | |
| | 実技 | 相談援助技術演習 | 自己理解、傾聴及び相談アドバイスができる技術の演習 | | 6 |
| | | ビジネスパソコン実習 | パソコンの基本操作(文書の作成、帳票類の作成、文章の管理、情報収集)及び社内報の企画、編集、発行、配布、宣伝の演習 | | 31 |
| | | 上級救命実技 | AEDの基本的な操作、救命手当、急病・けがの応急手当(上級救命技能認定) | | 8 |
| | | 看護助手実務演習 | 看護助手業務を行うためのマナー・接遇、看護助手としての基本的な業務(診療の補助等)の演習 | | 9 |
| | | 福祉用具専門相談員演習 | 福祉用具の活用(6H)、福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成(5H) | | 13 |
| | | ところとからだのしくみと生活支援技術(演習) | 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6H)、介護過程の基礎的理解(6H)、総合生活支援技術演習(6H) | | 51 |
| | | 介護の周辺技能演習 | ケアプラン作成演習、レクリエーション演習、介護の総合技術演習 | | 47 |
| | その他 | 【職場見学】 ①「障害者施設の見学」ワークセンタータートル・ステップ (3H) ②「介護付有料老人ホームの見学」ボンセジュール三鷹 (3H) ③「住宅型有料老人ホームの見学」ベストライフ三鷹 (3H) | | | 9 |
| | | 【職場体験】 ①「介護施設の体験」ボンセジュール三鷹、「通所介護施設の体験」SOMPOケアグループ (6H) ②「リハビリテーション病院の体験」小金井リハビリテーション病院 (6H) | | | 12 |
| 【職業人講話】 ①「これからの介護」(株)ベネッセスタイルケア (3H) ②「この仕事を選ぶまで」(株)アスモ介護サービス (3H) ③「シェアハウスについて」ナース佐久間の家代表 (3H) ④「薬局の仕事について」(有)ファーマシーすず (3H) ⑤「福祉ビジネス」電気通信大学 (3H) | | | | 15 | |
| 訓練対象者の条件 | 特になし | | | | |
| 訓練目標 | 介護職員初任者研修修了者として、ふさわしい知識と技能、福祉用具に関する専門知識及び福祉全般の基礎知識と相談援助技術を取得し、福祉現場をはじめとする社会貢献の分野で戦力となる人材を目指します。 | | | | |
| 訓練期間 | 平成31年4月19日～平成31年8月16日 | 土日祝の訓練実施の有無 | 無 | | |
| 訓練時間 | 9:00～16:25 | | | | |
| 定員 | 24名(受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は、訓練の実施を中止することがあります) | | | | |
| 自己負担額(税込み) | 教科書代 13,724円 職場見学・職場体験交通費(計5日間、実費) 法定講習に係る補講費(学科・実技各1時間3,000円) | | | | |
| 施設見学会日程(要事前予約) | 第1回目 | 3月11日 10:30 | 第2回目 | 3月14日 10:30 | |
| | 第3回目 | なし | 第4回目 | なし | |
| | 上記開催日以外も随時開催しております。(お問い合わせの上、お越しください。) ※問い合わせ先(0422-24-7500) | | | | |